



釧路郷土芸術賞に輝く

受賞者の
横顔

163カ国を歴訪

世界を駆け回り、地球上の人間は等しく平等であり、取材活動に追われてなければならぬといる。

思いの中から「われら地球人」のメインテーマが海軍学徒として九死に

生まれたという三輪さんを得て復員、早稲田大で米軍79歳の今もエネルギー学中退後、釧路市で米軍

ツッシュに世界を駆け巡り、情報将校、ジョン・H・

アンドレーフ氏から写真の指導を受けカメラマン

としての第一歩を踏み出した。1956年にアン

ドレーフ氏

の招きで欧

米を訪れた

際、旅の中

で「地球上

の人間は等

しく平等で

なければな

らない」と

の思いを強

くし、メイ

ンテーマの

◆特別賞写真
三輪 晃久さん(79)
神奈川県川崎市多摩区
(北村達弥)

世界を舞台に取材活動 「われら地球人」をテーマに

◇下◇

け、これまで163カ国を歴訪。2003年には南極を訪れ、04年には長年の作品を収めた写真集「われら地球人」を出版、内閣総理大臣賞を受けた。

また、道東の風景を撮った写真集「輝ける大地」を制作し、この地方の優れた景勝地を広く紹介、観光にも貢献するとともに釧路での写真展の開催や、撮影写真を教材用として釧路市内の小中学校に寄贈するなど写真を通して「第二の郷土」への愛着を示してきた。

さらに努力したい

三輪さんは「釧路はわたしが写真を志し、育ててくれた母なる大地のような故郷」と思いを語るとともに「釧路郷土芸術賞受賞を機にさらに努力したい」と話している。日本写真作家協会会長を歴任後、現在名誉会長。釧路ファイブ大使、在京釧路会副会長

としても活躍している。